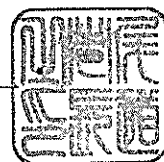




尾 都 デ第122号
2007年4月24日

国土交通省道路局長 様

尾道市長 亀 田 良
(都市部都市デザイン課)



中期的な計画の作成にあたっての意見について (提出)

標記の件について、次のとおり提出します。

お問合せ先：都市デザイン課 園田、朝倉
TEL 0848-25-7222

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

1. 中国横断自動車道尾道松江線については、山陽自動車道・中国縦貫自動車道・山陰自動車道及び瀬戸内しまなみ海道などと一体となって、高速交通ネットワークを構成する非常に重要な路線である。本路線の整備は、沿線地域の活性化の取り組みの効果に大きく影響するため、引き続き、早期の開通に向けた所要の予算措置を継続していただきたい。
2. 本市を含む瀬戸内しまなみ海道周辺地域の島々は、優れた自然景観や文化資源など、魅力的な地域資源を数多く有しているが、それぞれの島に立ち寄るには、高速道路通行料金が負担となり、交流人口の増加に結びつきにくい状況となっている。
したがって、ETCの普及と活用により、弾力的な料金設定を一層進めていただきたい。
3. 平成の大合併により本市も2市3町が合併し15万都市となり、市域も2.5倍近く拡大した。住民意識の一体感醸成と市中心部と外縁部との時間距離短縮のためにも市域内を結ぶ道路整備が喫緊の課題である。
4. 高次医療機関は市中心部等にしかなく、合併により市域に加わった中山間地や島しょ部から、緊急・救急時に短時間で当該医療機関へ搬送できる道路整備が必要である。
5. 近隣の三原市を結ぶ重要な路線である国道2号は、慢性的に交通渋滞が発生しているとともに、海沿いの道路のため荒天時には波浪により冠水する状況にあり、近隣市町住民だけではなく、重要な動脈として多くの利用者から一般国道2号木原道路の早期完成が望まれている。
6. 合併で拡大した市域は、南北の距離が非常に大きくなったにもかかわらず、公共交通機関の利用が不便であり、高齢者も自ら車を運転して移動せざるを得ない実態がある。しかし、中山間地の道路整備がとり残されており、安全安心し運転できる道路整備をしていかなければ、若者のUターンも望めず、限界集落が数多く発生していくと思われる。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

1. 尾道市では、瀬戸内しまなみ海道を中心に日本風景街道の手法を取り入れた「しまなみ風景街道」の創造を重点施策として位置付けている。現在国土交通省では、優れた景観、撮影スポットになる駐車場、パーキングを「とるば」として案内標識等の整備をされているが、既存施設を対象とするだけで

なく、高速道路上沿線の優れたビューポイントなどへの新たなサービスエリアやパーキングエリアの整備を可能とし、その計画・運営に地域住民が参画できる仕組みづくりをすることが望まれる。